

メルセデス・ベンツ 車両環境データ



Mercedes-Benz

用語
解説

モデル		CLS 400	CLS 550	Mercedes-AMG CLS 63S	Mercedes-AMG CLS 63S 4MATIC
車両型式		MBA-218361	DBA-218373	CBA-218375	CBA-218376
原動機		276	278	157	157
総排気量	cc	3,497	4,663	5461	5461
変速機		電子制御9速A/T	電子制御9速A/T	電子制御7速A/T	電子制御7速A/T
駆動方式		後輪駆動(FR)	後輪駆動(FR)	後輪駆動(FR)	後輪駆動(FR)
排出ガス	適合規制・認定レベル		ガソリン乗用車 平成21年基準排出ガス 50%低減レベルに適合	ガソリン乗用車 平成17年基準排出ガス 75%低減レベルに適合	ガソリン乗用車 平成17年基準排出ガス 50%低減レベルに適合
	JC08H+JC08Cモード 規制値・認定値	一酸化炭素(CO) g/km	1.15	1.15	1.15
		非メタン炭化水素 (NMHC) g/km	0.025	0.013	0.025
		窒素酸化物(NOx) g/km	0.025	0.013	0.025
		粒子状物質(PM) g/km	0.005	-	-
騒音	適合規制レベル		平成10年規制に適合	平成10年規制に適合	平成10年規制に適合
		加速走行騒音(規制値) db	76	76	76
		定常走行騒音(規制値) db	72	72	72
		近接排気騒音(規制値) db	96	96	96
燃料の種類		無鉛プレミアム・ガソリン	無鉛プレミアム・ガソリン	無鉛プレミアム・ガソリン	無鉛プレミアム・ガソリン
(JC08モード)	燃費 km/L.	12.5	10.2	8.9	8.5
	二酸化炭素(CO ₂)排出量 燃料消費率からの算出値 g/km	186	228	261	273
	平成27年度燃費基準	+10%達成	達成	-	-
	平成32年度燃費基準	-	-	-	-
	備考				
カーエアコン冷媒 (大気放出禁止・廃棄時要回収) 環境影響度目標値/目標年度:150/2023	種類:R134a (GWP:1430)	使用量: 590g	使用量: 590g	使用量: 590g	使用量: 590g
リサイクル	リサイクル設計の有無	有	有	有	有
その他	グリーン購入法適合車	-	○	-	-
	九都県市指定低公害車	平成21年基準 優低公害車 の基準に適合	平成21年基準 超低公害車 の基準に適合		

*1 上記の燃料消費率の数値は国土交通省審査値です。燃料消費率は定められた試験条件のもとでの数値です。
実際の走行時には、気象、道路、車両、運転、整備等の状況が異なってきますので、それに応じて燃料消費率が異なります。

■ 本車両環境データの内容は、2016年8月24日現在のものです。

■一酸化炭素(CO):
無色、無臭、水に難溶の气体で、重油、ガソリンなど
炭素を含む化合物が不完全燃焼する時に発生する。
工場・事業場や自動車などから大気中に排出される。
環境基準並びに「大気污染防治法」及び「都道府県
条例」による排出基準、自動車排出ガスの許容限度
がそれぞれ定められている。

■窒素酸化物(NOx):
燃料などの燃焼過程において、空気中の窒素と酸素
が高温下で反応したり、燃料中の窒素分が酸化され
て発生する。
工場、事業場等から排出されるが、自動車からも排出
される。刺激性があり、汚染が激しい地域で生活して
いると呼吸器障害を起こすといわれている。また、酸
性雨の原因物質である。

■炭化水素(HC),非メタン炭化水素(NMHC):
炭素と水素からできている化合物の総称。炭化水素
は、作業者の神経系や肝臓障害をひきおこすため
「労働安全衛生法」で管理体制等が定められている。
大気中で拡散した炭化水素は、強い紫外線を受けて
光化学オキシダントを生成し、人体や植物に害を与える。
尚、NMHCは、有害性がなく光化学的に不活性のメ
タンを除外したものであり、有害性あり浮遊粒子状
物質等の二次生成成分を的確に低減するために平
成17年排出ガス規制から規制されている。

■粒子状物質(PM):
大気中に浮遊する粒子状物質で、工場からの煤塵、
ディーゼル車の排出ガス、粉塵、土埃などがある。
ディーゼル車の排出ガスの粒子状物質の成分のほと
んどは燃料の燃え残りのカーボンと炭化水素であり、
微量に硫酸塩と潤滑油成分である。遊粒子状物質
(SPM;粒径10ミクロン以下)は呼吸器への影響があると
いわれている。